

オートフィードシュレッダー KTF60C

取扱説明書



この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

保証書付 (裏表紙)

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよく読んで、正しく使用してください。
- 使用前に「安全上の注意」を必ず読んでください。
- この取扱説明書は使用する方がいつでも見ることができるよう、大切に保管してください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店から受け取ってください。

もくじ

ご使用の前に

安全上の注意	2
使用上の注意	4
各部の名称	5

取り扱いかた

使いかた	6
お手入れ	8

こんなときには

故障かな？と思ったら	10
仕様	11
保証とアフターサービス	11
保証書	裏表紙

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。

人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源プラグのほこりは乾いた布で定期的に取る

ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。

- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む

ショートによる火災・感電の原因になります。



- お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く

感電やけがの原因になります。



- めれた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電・やけど・けがの原因になります。



- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない

ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、修理専用コールへお問い合わせください。



- 電源コードをたばねて使用しない
- 過熱してやけどや火災の原因になります。電源コードは、必ずのばして使用してください。

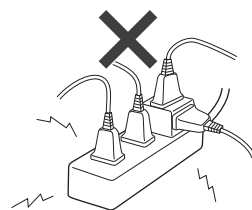
- 電源コードを傷つけない
- 持ち運び時や収納時に電源コードを引っ張らない

傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重い物を載せる、挟み込むなどしないでください。

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

- コンセントや延長コードの定格を超える使いかたをしない

火災の原因になります。



- 交流100V以外では使わない
- 火災・感電の原因になります。

- 乳幼児に電源プラグをなめさせない
- けがや感電の原因になります。



- 分解・修理・改造しない

火災・感電・けがの原因になります。修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。修理については、お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。



- 不安定な場所に置かない

転倒・落下して、けがや、物品の破損の原因になります。

- 上に乗ったり、物を置いたりしない
- けがや、物品の破損の原因になります。



- スプレーをかけない（殺虫剤、整髪料、潤滑油など）

引火して火災の原因になります。



- 引火性のもの（灯油・ガソリン・シンナーなど）、火の気のあるもの（たばこ・線香など）、可燃性のもののそばで使わない

火災の原因になります。



- 水まわり、風呂場など湿気のある場所では絶対に使用しない

- 本体を水につけたり、本体に水をかけない

火災・感電の原因になります。



- 子どもに使用させない
- 重大事故の原因になります。



- 投入口や排出口に物や手を入れない
細断部に引き込まれるおそれがあります。



- 髪の毛を投入口に近づけない
細断部に引き込まれるおそれがあります。



- 衣類の裾やネクタイなどを投入口に近づけない
- ネックレスなどのアクセサリーを投入口に近づけない
細断部に引き込まれるおそれがあります。



- 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く
発煙・火災・感電のおそれがあります。
【異常の例】
 - ・ 異常な音やにおいがする
 - ・ 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
 - ・ 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
 - ・ 運転中時々電源が切れる
 - ・ 触れるとビリビリ電気を感じる➡使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。



- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
火災・感電の原因になります。



- シュレッダー以外の用途に使用しない
異常動作・火災の原因になります。



- 布や紙、ビニール袋などでおおったりふさいだりして運転しない
- ほこり、粉塵の多い場所で使用しない
過熱して火災の原因になります。



- 移動するときはダストボックスが外れて落下しないように注意する
けがの原因になります。



- カバーを閉じるときは、手や衣類をはさまない
けがや事故の原因になります。

使用上の注意

- 次のようなことはしないでください。
 - ・ 本機以外のダストボックスやくず入れを組み合わせで使用
 - ・ 必要以上に逆転させる
故障の原因になります。
- 細断くずは、ダストボックスいっぱいまでためないでください。
性能の低下や故障の原因になります。
- 次のような物は入れないでください。
 - ・ フィルム・OHPシート・ポリ袋・ビニールなど
 - ・ カーボン紙・感熱紙・湿った紙・シール・タック紙・粘着テープ・新聞紙など
 - ・ CD・DVD・その他のディスク
 - ・ 磁気カード・ICカードなどプラスチックカード類
 - ・ ラミネートされたもの
故障の原因になります。
- ステープラーで5枚以上綴じられている書類は、自動給紙用投入口にセットしないでください。(4枚までは可能)
- クリップ・ピン・11号針より大きいステープラーの針などは必ず取り除いてから投入してください。
ステープラーの針は11号針まで細断可能です。
- キャスターで段差を乗り越えないでください。
キャスターの破損の原因になります。段差のあるところでは、必ず持ち上げて移動してください。
- 移動するときは、ダストボックスが外れて脱落しないように注意してください。
細断くずが飛び散ります。
- 連続使用後は、必ず1時間程度休止してください。
過熱・故障の原因になります。

- 台所など湿気や油煙の多い場所、ほこりの舞う場所では使用しないでください。
長期間そのような場所で使用すると、ほこりが内部に付着して、取りきれないことがあります。
- 直射日光やエアコン・冷暖房器具の風が当たるような、高温・低温になる場所に設置しないでください。
変形・変色したり、誤動作したりする場合があります。
- ラジオやテレビに近づけないでください。
ラジオやテレビにノイズが入る場合があります。

モーターの保護装置について

定格時間を超えて細断を続けるなどして、モーターに負担がかかって異常に温度が上昇すると、保護装置が働き細断を停止します。

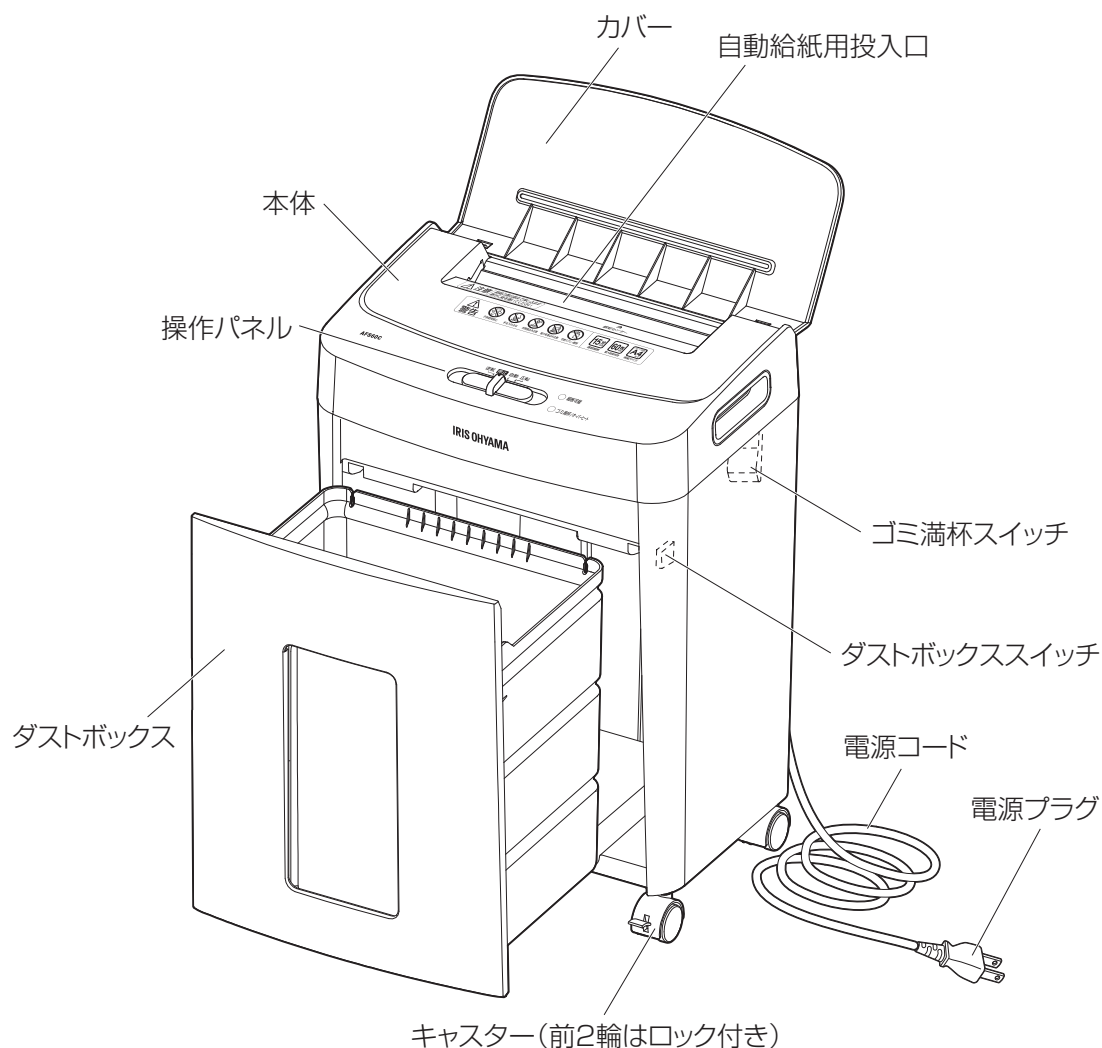
保護装置が働いたときは、①細断スイッチを**停止**にし、②約1時間放置して、③細断機構部が冷めてから、詰まった紙を取り除くなどして使用してください。

廃棄について

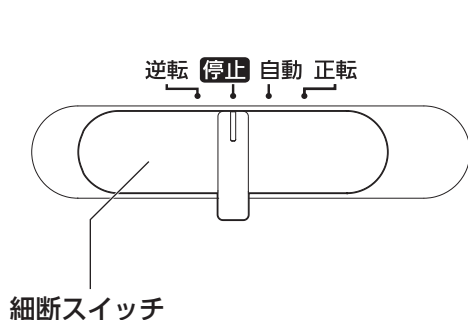
- 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

- 本機は出荷前に細断テストを行っています。細断テスト後は細断くずの除去を行っていますが、カッター刃などに付着した細断くずが輸送中に落下し、ダストボックスや本体に残っている場合があります。あらかじめご了承ください。

各部の名称



■操作パネル



細断可能ランプ
ダストボックスを正しくセットすると、細断スイッチを**自動・正転・逆転**にしたときに点灯します。

- 細断可能
- ゴミ満杯/オーバーヒート

ゴミ満杯(オレンジ)/オーバーヒート(赤)ランプ

定格時間を超えて細断するなどして、モーターの温度が異常に上昇すると、保護装置が働いて細断を停止し、ランプが赤に点灯します。

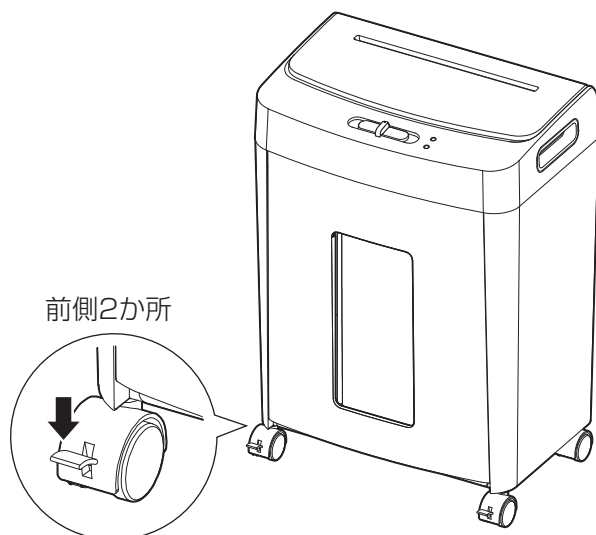
逆転	停止	自動	正転
紙の投入にかかわらず、カッターが逆転します。紙が詰まったときに使用します。	細断が終わったらこの位置にします。移動したり細断くずを捨てるときは、必ずこの位置にしてください。	紙を投入すると自動的に細断が始まります。細断が終了すると、自動的に停止します。	紙の投入にかかわらず、カッターが回転を続けます。紙が詰まったときなどにも使用します。

使いかた

■ 準備

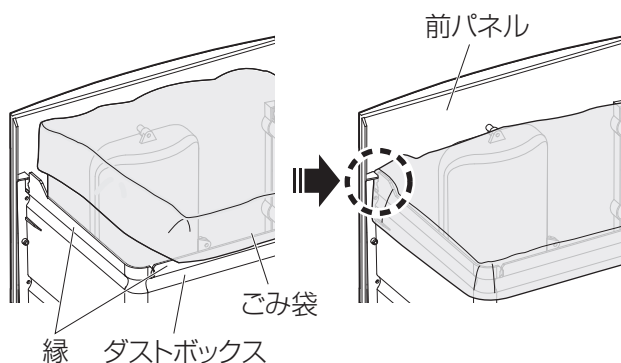
1 水平で安定した場所に設置する

- ・設置場所が決まったら、本体が動かないようにキャスターをロックしてください。

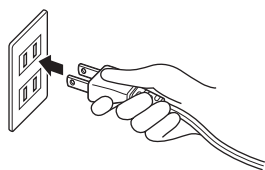


2 ごみ袋を取り付ける

- ・ごみ袋の開口部を外側に折り返し、ダストボックスの縁にかぶせてください。
- ※角の部分だけでなく、全周折り返します。
- ※ダストボックスの前パネル側は、前パネルとダストボックスの間に差し込みます。

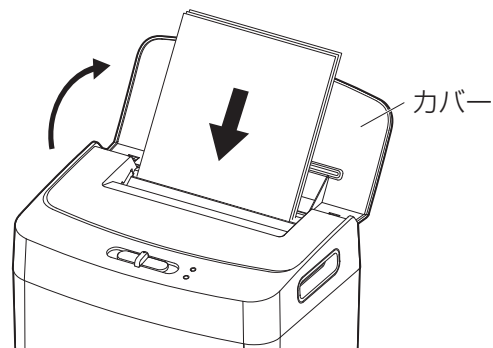


3 電源プラグをコンセントに差し込む

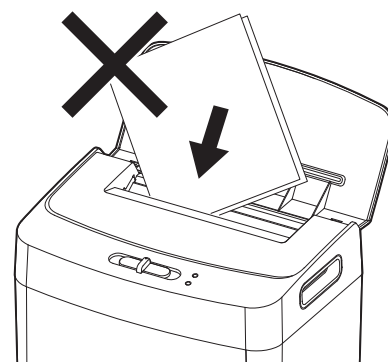


■ 細断

1 カバーを開けて、細断する紙を自動給紙用投入口にセットする



- ※紙はまっすぐ投入してください。
- ※紙は静かに置いてください。押し込むと紙づまりの原因になります。



ステープラー（ホッチキス）について

- ステープラーの針は、11号針まで自動細断可能です。ただし、とめる箇所が多かったりとめ方が悪かったりした場合は、自動細断できない場合があります。
- 5枚以上綴じられている書類は自動細断しないでください。（4枚までは可能）
- ステープラーでとめた書類を自動細断するときは、針の方向を図のように、隙間が裏側（カバー側）になるようセットしてください。



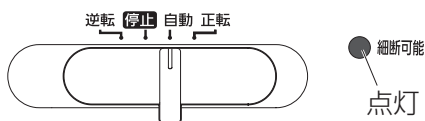
ステープラーの針の隙間が書類の裏側



ステープラーの針の隙間が書類の表側

2 細断スイッチを自動にする

- 細断可能ランプが点灯し、自動的にカッターが回転して細断します。



- 細断が終了すると、自動的にカッターの回転が停止します。

3 使い終わったら、細断スイッチを停止に戻す

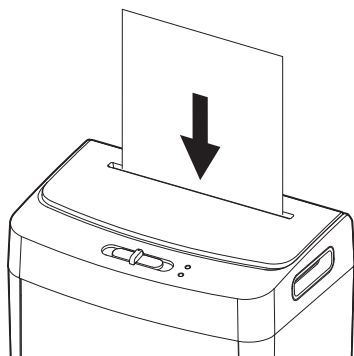


自動細断投入口に一度にセットできる枚数

A4 コピー用紙 60枚 以内
(64g / m²)

- 紙の細断能力は、紙質、湿度などにより変わります。
- 紙を斜めに投入すると、紙詰まりなどのトラブルの原因になります、必ずまっすぐに投入するように注意してください。
- 細断できる紙のサイズは、A4 ～ A5です。
- サイズの異なる紙が混じっているときは、自動細断はしないでください。
- 細断は、コピー用紙のみにしてください。厚みの異なる紙（はがきなど）は紙詰まりの原因になります。
- 投入口の紙感知センサーを通らないと、細断は始まりません。
- 連続使用後は、必ず1時間程度休止してください。

※ カバーを閉じたままでも、1 ～ 2枚を細断する場合は紙を投入することができます。
カバー中央の投入口に投入してください。



■ 細断が途中で止まったら

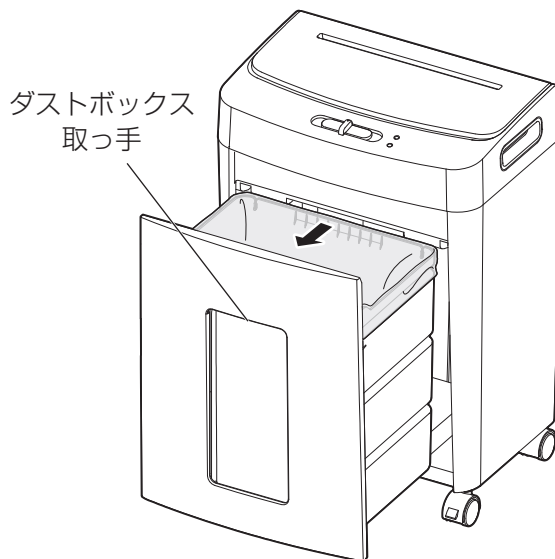
(ゴミ満杯／オーバーヒートランプが点灯したら)



細断くずがいっぱいになっているとき
(オレンジに点灯)

細断くずを捨ててください。

- ダストボックスを引き出すときは、取っ手を持って、前に引き出してください。
- 細断くずが飛び散らないように、ゴミ袋を取り出し、捨ててください。



注意

- 細断くずを捨てるときは、必ず細断スイッチを**停止**にしてください。

- ※ ゴミ満杯／オーバーヒートランプが点灯する前に、細断くずがたまってきたら、早めに捨ててください。
- ※ ダストボックスは、正しく本体にセットしてください。

オーバーヒートして停止しているとき
(赤に点灯)

細断スイッチを**停止**にして、電源プラグを抜き、細断機構部が冷えるまで放置する

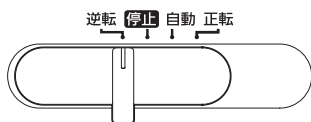
- 約1時間放置し、電源プラグを接続して、再度操作してください。
- ※ それでも、動作しないときは、修理専用コールへお問い合わせください。

使いかた つづき

■ 細断が途中で止まったら

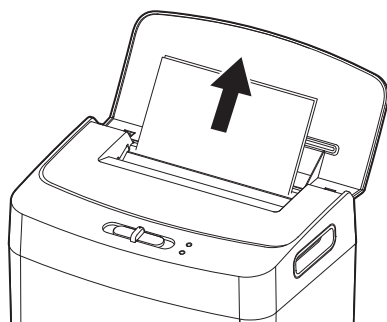
一度に大量の紙を投入したり、斜めに投入したりすると、紙が詰まって細断が停止することがあります。そのようなときは、次の手順にしたがってください。

1 細断スイッチを逆転にして、詰まった紙を取り除く

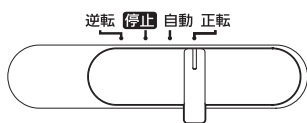


・詰まった紙が取り除きにくい場合は、無理に引っ張らず、左右にゆすりながら少しずつ取り除いてください。

※ 細断スイッチをスライドしても動作しないときは、モーターの保護装置が働いています。その場合は、約1時間放置した後、再度動かしてください。



2 細断スイッチを正転にして、細断くずを排出する



- 細断が途中で止まったまま放置しないでください。故障の原因になります。
- ダストボックスがいっぱいのまま逆転しないでください。ダストボックス内の細断くずが巻き上げられて、紙詰まりの原因になります。逆転するときは、必ずダストボックスの細断くずを捨ててから行ってください。

お手入れ



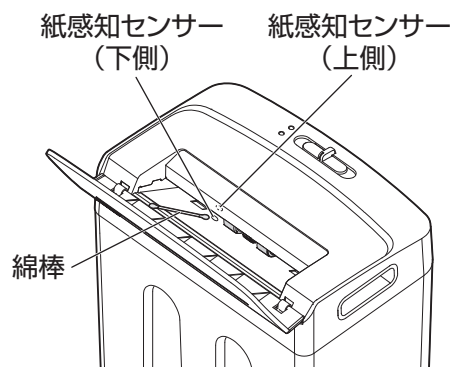
注意

● 内部のお手入れは、必ず細断スイッチを**停止**にし、電源コードを抜いて行ってください。

● 洗剤、シンナー、ベンジン、漂白剤などは使用しないでください。

紙感知センサー

綿棒などでごみを取り除く



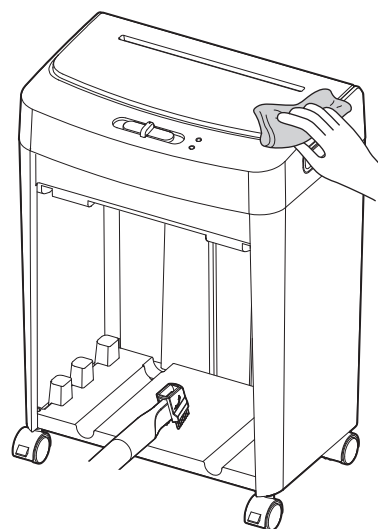
※ 紙感知センサーは、上下に付いています。上側の感知センサーは下側の感知センサーの向かい側にあります。

綿棒などでごみを取り除いてください。

本体

柔らかい布でから拭きする。

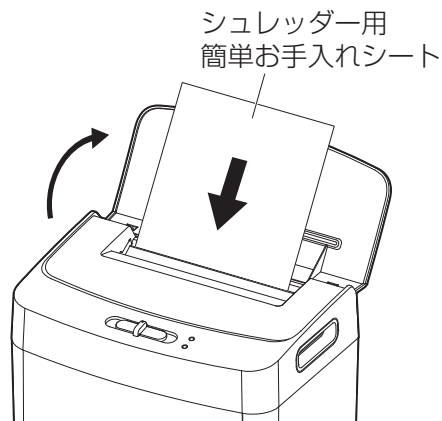
- ・ 内部に細断くずなどが飛び散っているときは、掃除機などで吸い取ってください。
- ・ 汚れが落ちにくいときは、薄めた中性洗剤を含ませた布で拭いたあと、固くしぼった布などで洗剤分を拭き取ってください。



カッター

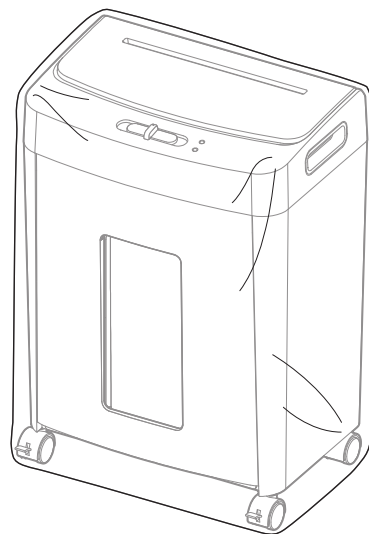
シュレッダー用簡単お手入れシート（別売）を使用する

- アイリスオーヤマ製シュレッダー用簡単お手入れシートを細断してください。細断すると、潤滑油が行き渡り、動作を滑らかにします。



保管

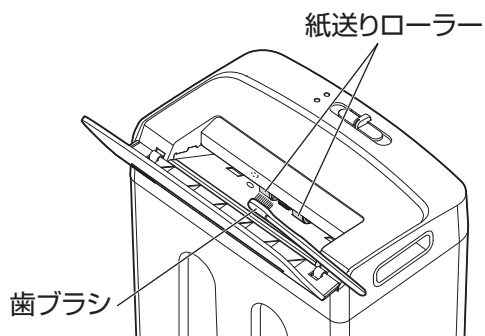
- 長期間使用しないときは、ポリ袋などをかぶせて、湿気の少ない場所で保管してください。



紙送りローラー

自動給紙用投入口奥にあるローラーにごみ（紙粉や細断くず）が付着すると、自動給紙が正常に働かなくなる原因になります。定期的に、付着したごみを取り除いてください。

不要な歯ブラシなどでごみを取り除く



※紙送りローラーの全面を一度に掃除することはできません。コンセントに電源プラグを差し込み、細断スイッチを**正転**にしてローラーを回転させ、掃除していない部分が見えるようにして、掃除を繰り返してください。

※電源プラグは、必ずその都度コンセントから抜いて、お手入れを行ってください。

※ごみが取れにくい場合は、歯ブラシを少し湿らせて掃除してください。その際は、細断機構部に水が入らないように、注意してください。

故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

状 態	考えられる理由	処 置
細断しない	●投入物が紙感知センサーを 通っていない	●投入物は投入口の紙感知センサーの間を通るよ うに、まっすぐ入れてください。
細断しない (細断可能ランプ が消灯)	●電源プラグがコンセントに確 実に差し込まれていない	●電源プラグをコンセントに確実に差し込んでく ださい。
	●ダストボックスが本体に確実 にセットされていない	●ダストボックスを奥まで確実にセットしてくだ さい。
細断しない (ゴミ満杯／オー バーヒートラン プがオレンジに 点灯)	●ダストボックスが満杯になっ た	●細断くずを捨ててください。
細断しない (ゴミ満杯／オー バーヒートラン プが赤に点灯)	●紙詰まりを起こした	●詰まった紙を取り除き、適切な枚数で使用して ください。(→P8)
	●クリップなどの金属物や異物 がカッターにかみこんでいる	●詰まった物を取り除いてください。
	●モーターの保護装置が働いて 停止している	●細断スイッチを 停止 にし、約1時間放置して、 細断機構部が冷めてから使用してください。 (→P4)
本体が動く	●キャスターがロックされてい ない	●水平で安定した場所に設置し、前側のキャス ターをロックしてください。(→P6)
ひんぱんに、ゴミ 満杯／オーバー ヒートランプが赤 く点灯する	●カッターが汚れている	●カッターをお手入れしてください。(→P9)

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

●自分で分解・修理・改造
しないでください。

仕様

定格電源	AC100V、50 / 60Hz	
定格消費電力	44W	
待機電力	1W	
投入幅	220mm	
細断サイズ	クロスカット 4×10mm	
細断速度	約2.3m / 分	
最大給紙枚数 (自動細断)	A4コピー用紙 (上質紙64g / m ²)	60枚
定格時間	20分	
ダストボックス容量	13.7L	
外形寸法 (電源コード含まず)	幅328×奥行226×高さ468mm	
製品質量 (電源コード含む)	約7.1kg	
電源コード長さ	約1.5m	

※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■ 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。

保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

■ 保証期間

保証期間は、保証書（裏表紙）に記載されています。保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■ 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、5年間保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

オートフィードシュレッダー KTF60C

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※		保証期間	
年 月 日		お買い上げ日より：1年間	
お客様	お名前		※販売店
	ご住所 〒		
	電話 () -		
		住所・店名	
		電話 () -	

販売店様へ： ※印欄は必ず記入してお渡してください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷
 - お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
 - 本書の提示がない場合
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

アイリスオヤマ株式会社 〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせは
アイリスコール (通話料無料)

0120-311-564

修理に関するお問い合わせは
修理専用コール (通話料無料)

0800-170-7070

受付時間 平日 9:00～17:00、土・日・祝日 9:00～12:00 / 13:00～17:00
(年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)

FAX でのお問い合わせは (通話料無料) 0800-888-2600

Web からの問い合わせは <https://www.irisohyama.co.jp/support/>
メールフォームにご記入のうえ送信してください